

目次

日本情報考古学会第9回大会のご案内と講演募集 ...	1
学会誌の配布と論文募集	2
日本情報考古学会第8回大会報告	2
学会賞推薦のお願い	2
日本情報考古学会第9回大会報告	2

日本情報考古学会事務局

Tel./Fax. :03-5421-8766

E-mail :murakami@ism.ac.jp

申込〆切 :平成12年2月8日(火)

なお講演に関する詳細に関しては、下記の「一般講演について」を参照して下さい。

< 一般講演について >

1) 発表内容

遺物・遺構形状の計測技術、あるいはそれらのデータの計量分析、理化学的データの収集とその解析手法、考古学的事象をめぐるコンピュータ・シミュレーション、インターネットなど新たな通信基盤を介しての研究者間のデータ共有や共同研究をめぐる技術、多様な考古学的情報に関する幅広い分野の学際的研究を募ります。

2) 発表時間

質疑応答を含んで、発表1件当り30分を予定しています。(発表件数などによって変更することがありますのでご了承ください。)

3) 予稿提出

予稿原稿は6枚程度です。原稿作成の詳細につきましては申し込みがあり次第、事務局の方からご連絡致します。予稿〆切は、2000年3月1日(水)まで学会事務局に必着のこと。

4) 予稿集の編集について

ご送付いただいた原稿を直接写真製版いたしますので、筆者による校正の機会はありません。完全原稿を御提出下さい。なお、提出された予稿の原稿は、原則として返却いたしません。予め各自でコピーを保存して下さい。

5) 発表資格

発表者に一人以上の会員が含まれることが応募の条件となります。

6) 発表機材

OHP プロジェクタと液晶プロジェクタが利用可能です。その他の機材が必要な方は、事務局に御相談ください。

**日本情報考古学会第9回大会開催の
ご案内と講演募集**

寒さ厳しいこのごろ、会員の皆様にはますますご活躍のことと存じます。さて、本学会の第9回大会の開催が下記のように決まりましたので、御案内致します。

日時 :平成12年3月19日(日),20日(月)

19日(日)一般講演,夕刻懇親会

20日(月)一般講演

なお、特別講演は、埴原和郎先生(国際日本文化センター名誉教授)を予定しておりますが、演題等詳細は大会プログラムをご覧ください。

会場 :帝塚山短期大学 TEL 0742-43-4433

(近鉄奈良線学園前駅 徒歩1分)

第9回大会での講演ご希望の方は、

講演題目

発表者

所属

連絡先 (住所・電話・ファックス・電子メール)

を、電子メール、ファックス、郵送のいずれかで以下の申し込み先までお申し込み下さい。

申込先 :〒106-8569 東京都港区南麻布4-6-7

統計数理研究所 村上研究室内

学会誌の発送と論文募集

本学会の研究論文誌「情報考古学」Vol.5, No.1は、昨年10月に発行し、第8回大会にて配布いたしました。第8回大会に参加できなかった方には郵送いたしました。

また、「情報考古学」の次号 Vol.5, No.2は、次回大会時に刊行・配布予定です。多くの会員の方からの投稿を期待しております。

〒101 - 8433 東京都千代田区一ツ橋2 - 2 - 1
共立女子短期大学生活科学科
植木武（会誌編集委員会副委員長）
Tel :03-3237-2524 Fax :03-3237-2692

第8回大会に参加できなかった方で、「情報考古学」Vol.5, No.1が、まだお手元に届いていない場合は事務局までご連絡ください。

学会賞推薦のお願い

日本情報学会では、本会の発展および情報考古学の研究に貢献した会員に対し、下記の三つの賞

- ・日本情報考古学会賞
- ・日本情報考古学会論文賞
- ・日本情報考古学会優秀賞

を授与し、その功績を顕彰することになっています。つきましては、別紙の推薦書で候補者を御推薦ください。

日本情報考古学会第8回大会報告

日時：平成11年10月2日(土)・3日(日)
会場：東京都港区南麻布4 - 6 - 7
統計数理研究所 講堂

第一日目 10月2日(土)

< 研究発表 >

- ・日本人はクロマニヨン人
望月清文 (ベルシステム24 総合研究所)
- ・奈良県内の窯跡および古墳出土埴輪の蛍光 X 線分析
三辻利一 (奈良教育大) 大船孝弘 (高槻市教育委員会) 清水慎一 (櫻井市埋文) 鐘方正樹 (奈良市埋文) 秋森秀巳 (奈良教育大) 高場慎太郎 (奈良教育大)
- ・古墳における規格性(II)
西村淳 (函館大学)
- ・前方後円墳から考察する大和中央政権と東国地方政権の構造的関連(IX) 後期古墳の考察
植木武 (共立女子短期大学) 大塚初重 (明治大学)
梅沢重昭 (群馬大学) 岸野洋久 (東京大学) 村上征勝 (統計数理研究所)

< シンポジウム >

『古墳から見た畿内と東国との関係』
司会 甘粕 健 (元新潟大学)

パネリスト

- 「東国における前方後円墳出現期の地域相」
梅沢重昭 (群馬大学)
- 「飛鳥時代の大型前方後円墳」
関川尚功 (奈良県文化財保存課)
- 「古墳文化の展開と変質から見た東国と畿内の関係」
橋本博文 (新潟大学)
- 「動物埴輪の伝播 - 継体期を中心に -」
森田克行 (高槻市埋蔵文化財調査センター)

第二日目 10月3日(日)

< 研究発表 >

- ・連想記憶型インターフェースエージェントを用いた博物館システムの提案
犬賀勝利 (流通科学大学)
- ・文化財マップシステム
田中隆治 (大鐘測量設計)
- ・地理情報システムを用いた遺跡立地の地形特徴の算出(3)
千葉史 (岩手大学) 横山隆三 (岩手大学)
- ・鉛同位体比による青銅器鉛原産地の再検討(1) 「朝鮮半島産の鉛」説をめぐって
新井宏 (日本金属工業)
- ・鉛同位体比による青銅器鉛原産地の再検討(2) 「華北の鉛」「華南の鉛」説をめぐって
新井宏 (日本金属工業)

< 特別講演 > 司会 植木武 (共立女子短期大学)

- 『三角縁神獸鏡の系譜』
車崎正彦氏 (早稲田大学)
- 『三角縁神獸鏡の鑄造年代』
安本美典氏 (産能大学)
- ・ディスカッション

日本情報考古学会会報 No.7

発行 日本情報考古学会

2000年1月12日

〒106-8569 東京都港区南麻布4 - 6 - 7

統計数理研究所 村上研究室内

日本情報考古学会事務局

Tel./Fax. :03-5421-8766

E-mail :murakami@ism.ac.jp